

圏外のアンテナ

[語呂マジック]の巻

今の時代、ダジャレは「おやしギャグ」と呼ばれて、若者から「さむい」「ダサイ」と、うとまれている。ひょっとしたら、語呂合わせも同じ？わたしのような語呂合わせマニアには、気のもめる昨今である。

わたしが語呂合わせに目覚めたのは、18歳の頃。上京前に、母が仕送り用の貯金通帳を作ってくれた。口座番号は、……88407611（……母、塩なめろ。いまひとつ！）。母は送金するたび、わたしの語呂合わせに泣けたそうである。

手応えを感じたわたしは、その後も、次々に語呂合わせに挑戦。会社の電話、会員ナンバー、社員証……。そして、最新のヒット作は、噂のマイナンバー。個人情報的観点から全部書けないのが残念だが、……42396181……（……代々木に、ざくろいっぱい……）。色が浮かんでくる語呂合わせはけっこう珍しいのだ。と、自画自賛。

そんな中、ずっと避けてきたのが、自分の携帯番号だ。仕事先の人とうっかり語呂で伝えてしまうのはマズイだろうと、あえて数字のまま覚えた。だが数年前、ふと魔がさして何気なく語呂合わせをすると、……744274……（……梨よ、ふなっしー……）となって、腰が抜けた。

わたしが初めて携帯を手にしたのは1993年、当時表参道の交差点にあったKDDIショップである。以来、番号は一度も変えていない。一方、ご当地キャラのふなっしーが地上に降臨したのは2012年。つまり、20年も前からわたしの携帯番号は、やがて推すことになるふなっしーの誕生を予言していたわけである。稀代の予言者かっ！

語呂合わせとは、無機質な数字の羅列を、人知を尽くしてドラマチックな物語に変えていく作業だ。そこにはスペクタクルな変身マジックにも似た驚きと、言霊の力が隠れている。

2023（匂う兄さん）年も、あとわずか。みなさん、穏やかな年末を。

=2023年12月22日掲載=

